

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊第1術科学校大講堂において、第五十九期一般幹部候補生部内課程の卒業式が厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部候補生課程を卒業される皆様、並びに御家族の皆様、本日は、誠におめでとうございます。また、西山学校長を始めとする、学校関係者の皆様におかれましては、成長された自衛官が立派に巣立つ姿に、感慨もひとしおのことと、思います。

今、こうして皆様の、規律正しく、凜とした姿を拝見いたしますと、ここ江田島で過ごされた日々が、厳しさの中にも達成感と充実感に満ちたものであったことと拝察いたします。

我が国の安全保障環境が厳しさを増し、自衛隊の皆様への国民の期待が高まっていく中、本日、卒業される皆様におかれましては、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐ、幹部候補生学校で学ばれたことを糧とし、強固な使命感を持った立派な指揮官として、国民からの期待や負託にしっかりと応えていただきたいと、心から願っております。

さて、皆様、御存知のとおり、ここ江田島市は、今から百三十八年前、明治二十一年、海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし、これまで七十年間にわたり、共存共栄の関係を築き、皆様との縁や絆を大切に育ててきた地でございます。

三百六十五日、昼夜を問わず、国家国民のために邁進する自衛官の皆様は、私達江田島市民は、心から尊敬の念を抱いております。

卒業される皆様方におかれましては、仲間と過ごした江田島の地を、これからも見守っていただけますと大変嬉しく思います。また、「心のふるさと」として、折にふれ、御家族や同期の仲間と訪れていただければ、市民一同、心から歓迎いたします。

いつの日か再び皆様とお会いできる日を、楽しみにしております。

結びに、日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和八年二月十三日

江田島市長 土 手 三 生